

ポスター発表

発表時間 奇数番 9月21日(日) 11:00～12:00
偶数番 9月21日(日) 12:00～13:00

果 樹

- P001 カンキツ量子ビーム照射変異体の育成と後代の形質調査
○松山知樹¹・八幡昌紀²・下川卓志³・北村尚³・大野陽子¹・稲田美知子¹・小田切正人¹・守屋繁春¹・斎藤徳人¹・和田智之¹ (¹理研・光子学,²静岡大農学部,³量研機構)
- P002 ウンシュウミカン新品種‘あおさん’の品種識別を可能にするPCRマーカーの開発
○宮井良介¹・松田倫果²・沼口孝司³ (¹和歌山果樹試,²岡山大院環境生命自然科学研究科,³神戸大院農学研究科)
- P003 極早生ウンシュウ「早味かん」の双幹形仕立てによる管理作業の省力化と葉果比の検討
○松下竜一¹・谷川宏行²・竹元秀輝¹・朝隈英昭³・藤島宏之¹ (¹福岡農林試,²前:福岡農林試,³福岡筑後農林)
- P004 ウンシュウミカンのシールドニング・マルチ栽培が土壌水分と果実品質に与える影響
○志村もと子・森末文徳・黒瀬義孝 (農研機構西日本農業研究センター)
- P005 ウンシュウミカンにおける低カリウム果実生産法の検討
○日比野汐音・鈴木栄・高橋さくら (東京農工大院農学府)
- P006 燃焼式CO₂局所施用がハウスミカン樹冠内CO₂濃度分布に及ぼす影響
○田邊秀和¹・久井田曜陽¹・永松麻友香¹・矢野拓¹・日高功太² (¹大分県農林水研,²農研機構九州研)
- P007 根域制限栽培による樹上完熟作型‘菊池レモン’栽培の可能性
○菊池知古¹・星典宏²・喜多正幸³・遠藤佳成¹ (¹東京島しょ農水セ八丈,²農研機構東北研,³農研機構本部)
- P008 石松子に代わる花粉増量剤が‘土佐文旦’の着果および果実品質に及ぼす影響
○山崎安津・中平龍介・松下本樹 (高知県農業技術センター果樹試験場)
- P009 施設栽培のグレープフルーツ‘スタールビー’における人工受粉が着果率および果実品質に及ぼす影響
○中澤奎斗¹・西森空¹・戸梶裕太²・山崎安津¹
(¹高知県農業技術センター果樹試験場,²高知県中央西農業振興センター高吾農業改良普及所)
- P010 ユズ園地における樹体サイズ把握に向けたドローン搭載型3D-LiDARの飛行条件の検討
○村上真生¹・柴田高平²・栗原徹³・浜田和俊⁴
(¹高知大院総合人間自然科学研究科,²愛媛大院連合農学研究科,³高知工科大情報学群,⁴高知大農林海洋科学部)
- P011 カンキツ栽培における知的障がい者の作業能力の変化
○太田智¹・鶴領太郎²・芳賀道匡²・成瀬愛子³ (¹静岡県立農林環境専門職大学,²静岡福祉大学,³浜松医科大学)
- P012 ブドウ‘シャインマスカット’の無加温ハウス栽培における台木の違いが樹体生育、収量と果実品質に及ぼす影響
○福田哲生・村尾昭二・真鍋哲郎・濱野康平 (香川農試府中果樹研)
- P013 LEDパルス光励起蛍光によるブドウ‘シャインマスカット’の熟期測定
○小林拓¹・上條早輝¹・黄瀬佳之¹・西崎博光¹・塩谷諭史² (¹山梨大,²山梨果樹試)
- P014 ブドウ品種‘ほほえみ’の省力的無核果生産方法の検討
○田邊和正¹・衛藤優衣²・野上庄吾³・福田文夫¹・河井崇¹・平野健¹
(¹岡山大院環境生命自然科学研究科,²岡山大農学部,³野上ぶどう園)
- P015 導管液を使用した醸造用ブドウ新品種‘メイヴ’の越冬芽耐凍性の推定
○八木慎太郎・来田祐太郎・吉田芽生・鈴木卓・実山豊 (北海道大院農)
- P016 ブドウの着色を制御するMYB遺伝子型と果房の完全遮光が着色に与える影響の関係
○東暁史 (農研機構果茶研)
- P017 醸造用ブドウの台木が穂木越冬芽の耐凍性に及ぼす影響
○吉田芽生・来田祐太郎・八木慎太郎・鈴木卓・実山豊 (北海道大院農)
- P018 ニホンナシの自根誘導に適した挿し木条件の検討
○鈴木珠音・志賀由絃・富永晃好 (静岡大院総合科学技術研究科)
- P019 確率モデルを用いた積算気温推定に基づくナシの花の生育予測に関する研究
○遠藤啓太¹・木村共孝²・清水博幸³・鈴木智砂⁴・島田智人⁴・柴崎茜⁵・竹村圭弘⁶・平栗健史³
(¹日本工大院工学研究科,²同志社大理工学部,³日本工大基幹工学部,⁴埼玉農技研セ,⁵さいたま農林振セ,⁶鳥取大農学部)

- P020 ドローン受粉実験におけるナシの結実率の評価結果
○吉岡理音¹・鈴木智砂²・平栗健史³・清水博幸³・服部邦彦³・木村共孝⁴・桑原新大⁴・遠藤啓太¹・島田智人²・竹村圭弘⁵ (¹ 日本工大院工学研究科,² 埼玉農技研セ,³ 日本工大基幹工学部,⁴ 同志社大理工学部,⁵ 鳥取大農学部)
- P021 ナシ自家和合性品種とドローンを利用した省力栽培技術の検証
○渡部孝太郎¹・白坂颯進¹・根津潔²・松本辰也¹ (¹ 新潟食料農業大,² 新潟農総研園研セ)
- P022 ニホンナシ‘秋麗’の袋掛けによる果皮表面のさび発生および果実品質に及ぼす影響
○佐藤景子・柴田佳歩・池ヶ谷篤・山家一哲・森口卓哉 (静岡県立農林環境専門職大学)
- P023 ニホンナシ花腐細菌病菌の汚染花粉に対する有機溶剤の除菌効果
○吉原千尋¹・中田沙美²・増中章³・須崎浩一⁴・大崎久美子²
(¹ 鳥取大院持続性,² 鳥取大農,³ 名城大農,⁴ 農研機構植防研)
- P024 モモ‘あかつき姫’のマーブル色果肉形成に関わるカロテノイド代謝関連遺伝子の研究
○東条拓海・西山学・金山喜則・加藤一幾 (東北大院農学研究科)
- P025 土壌改良がモモの凍害発生危険温度に及ぼす影響(第2報)
○堀井幸江¹・山内大輔²・宮下博行²・永谷留衣²・小川瑛里奈²・井上博道¹ (¹ 農研機構果樹茶部門,² 石川農林総研セ)
- P026 LED 励起蛍光によるモモ‘夢桃香’の収穫期判定手法の検討
○上條早輝¹・小林拓¹・黄瀬佳之¹・西崎博光¹・佐藤明子² (¹ 山梨大,² 山梨果樹試)
- P027 日本のモモ栽培品種におけるハプロタイプの遺伝
○岩本美沙¹・西村和紗¹・南川舞²・中野龍平³・高田大輔⁴・河井崇¹・福田文夫¹・鶴木悠治郎⁵・小田賢司⁶・牛島幸一郎¹ (¹ 岡山大院環境生命自然科学研究科,² 千葉大国際高等研究基幹,³ 京都大農学部附属農場,⁴ 福島大食農学類,⁵ 岡山農総セ農研,⁶ 岡山農総セ生科研)
- P028 Effect of High Temperature Conditions on Flower Bud Development and Pistil Abortion in *Prunus mume* Sieb. et Zucc.
○Uttamoth, Jutikan¹・長坂京香²・中野龍平²・HsiangTzu-Fan¹・山根久代¹・田尾龍太郎¹
(¹ 京都大院農学研究科,² 京都大院農学研究科附属農場)
- P029 バラ科果樹の果実で発現する *alcohol acyltransferase* ホモログの系統解析とその発現パターン
○今井陽己¹・森本拓也¹・並河博美²・森内翔太¹・山内りお²・高阪千尋³・柏本知晟⁴・田嶋皓⁴・大江孝明⁴・中野龍平⁵・沼口孝司⁶・北村祐人⁷・板井章浩¹ (¹ 京都府立大院生命環境科学研究科,² 京都府立大生命環境学部,³ 京都市産技研,⁴ 和歌山県果樹試うめ研,⁵ 京都大院農学研究科,⁶ 神戸大院農学研究科,⁷ 摂南大農学部)
- P030 甘果オウトウ果実における肥大期以降の水溶性物質の時系列変化
○若山正隆^{1,2}・井上雅貴^{2,3}・芦野祐尋^{2,4}・佐藤美夢^{2,4}・加藤千波²・蟹愛実²・小倉立己²
(¹ 愛媛大学大学院医農融合公衆衛生学環,² 慶應義塾大学先端生命科学研究所,³ 山形県農業総合研究センター園芸研究所,⁴ (公財) 庄内地域産業振興センター)
- P031 花器形成期間の低温処理がカキ‘太秋’の奇形果発生に及ぼす影響
○久住あかね・西山総一郎・山根久代・田尾龍太郎 (京都大院農学研究科)
- P032 カキ‘刀根早生’における気温データのみを用いた開花盛期推定法の検討
○辻本誠幸 (奈良農研セ)
- P033 新潟県在来品種‘伝内’の樹上脱渋方法の検討
○郎笑傑・松本誠人・松本辰也 (新潟食料農業大学)
- P034 メタボローム解析によるカキ甘渋分離後代における果実内代謝物の比較
○浅草遼太郎¹・藤原陽介¹・西山総一郎¹・尾上典之²・河野淳²・山根久代¹・田尾龍太郎¹
(¹ 京都大院農学研究科,² 農研機構果茶研)
- P035 カキ‘西条’×‘西条’に由来する実生個体の開花と着果について
○江角智也・加藤露羽 (島根大生物資源科学部)
- P036 *Actinidia arguta* の単為結果および果実肥大におけるホルクロルフエニユロン応答性と倍数性との関係
○松島鈴夏・片岡郁雄・大野健太郎 (香川大学農学部)
- P037 耐水性台木 *Actinidia macrosperma* を用いたサルナシ (*A. arguta*) の水耕栽培試験
○中村彰斗・片岡郁雄・別府賢治・大野健太郎 (香川大農学部)
- P038 *Actinidia macrosperma* 台のキウイフルーツ‘香川 UP-キ5号’の湛液型非流動水耕におけるカリウム処理が果実発育に及ぼす影響
○奥田拓海・チェトリラルパハダ・大野健太郎・別府賢治 (香川大学農学部)
- P039 キウイフルーツ雄品種‘チーフタン’の自発休眠覚醒時期の低温要求量
○岡田雅道・米澤昂平・合田光 (愛媛農林水研果樹研セ)
- P040 連続的異倍数性キウイベリー (*Actinidia arguta*) 系統におけるサイトカイニン応答と単為結果性の解析
○服部百伽¹・堀内綾乃¹・牛島幸一郎¹・大野健太郎²・別府賢治²・久保康隆¹・赤木剛士¹・片岡郁雄²
(¹ 岡山大院環境生命自然科学研究科,² 香川大農学部)

- P041 シーベリーの無菌発芽および組織培養における諸条件の検討
○広島大将¹・神戸敏成^{1,2}・坂田暉樹¹・高橋真嗣²・三柴啓一郎^{1,2} (¹ 龍谷大院農学研究科,² 龍谷大農)
- P042 ラズベリー ‘ヘリテージ’ の収量増加および収穫期間に及ぼす亜リン酸の葉面散布および二年生株の利用際の影響
○小林英介・今西弘幸 (秋田県立大アグリイノベーション教育研セ)
- P043 ブルーベリーのポットを用いた養液土耕栽培において養液濃度が生育に及ぼす影響
○佐藤栞・鈴木栄・高橋さくら (東京農工大学大学院農学府園芸学研究室)
- P044 四倍体ブルーベリーにおける dpMig-seq 法によるジェノタイピング手法の改善および複数分離集団を用いた遺伝様式の推定
○明山ゆり・長坂京香・中野龍平 (京都大学大学院農学研究科)
- P045 Exploring morphological leaf characteristics among major blueberry cultivars in Massachusetts, USA
○孟翔吉¹・李ケンユウ³・星野洋一郎^{1,3} (¹ 北海道大院環境科学,³ マサチューセッツ大学アマースト校)
- P046 リンゴラムナー遺伝子 *MdDOX-Co* ノックダウン組換え体の作出
○和田雅人¹・岡田和馬²・川原田泰之¹・蓮沼大地¹・小森貞男¹ (¹ 岩手大学農学部,² 農研機構果樹茶業研究部門)
- P047 リンゴ ‘ふじ’ を用いた “Additional Regeneration” による効率的なゲノム編集個体の獲得および効果の解析
○今井悠人¹・前田恵花¹・李芙蓉²・川原田泰之¹・渡邊学³・和田雅人¹・小森貞男¹
(¹ 岩手大学農学部,² 京都府立大学農学食科学部,³ 岩手大学農学部寒冷フィールドサイエンス教育センター)
- P048 赤果肉リンゴ実生系統における環境ストレス耐性およびその品質評価
○登島早紀¹・小早川紘樹¹・藤田知道²・佐藤早希²・林田大志²・田中紀充¹
(¹ 弘前大農学生命科学部,² 弘前大農学生命科学部附属生物共生教育研究センター藤崎農場)
- P049 有機栽培チャの煎茶の風味と嗜好性
比良松道一・長倉飛翔・○ Ristanti, Sonia・佐藤楊 (新潟食農大)

野 菜

- P050 アスパラガス属植物の疫病抵抗性評価
○園田高広¹・菅野明² (¹ 酪農学園大学農食環境学群,² 千葉大学園芸学部)
- P051 アスパラガス種間雑種の葯培養による茎枯病抵抗性純系ホモ超雄株の作出
○里中寿々花¹・中川理那¹・盛本薫²・魯艶星¹・水ノ江雄輝³・尾崎行生³
(¹ 九州大学生物資源環境科学府,² 九州大学農学部,³ 九州大学農学研究院)
- P052 覆土量および性別がアスパラガスの鱗芽群の分枝様態に及ぼす影響
○遠藤みのり^{1,2}・菅野明^{3,4}
(¹ 農研機構西農研,² 岡山大院環境生命自然科学学域,³ 東北大院生命科学研究科,⁴ 千葉大院園芸学研究院)
- P053 露地栽培における茎枯病抵抗性アスパラガス ‘あすたまJ’ の栽培環境と収量との関係
○守行正悟・渡辺慎一 (農研機構九沖研)
- P054 ベンジルアミノプリン液剤の茎葉散布がアスパラガス茎枯病抵抗性品種・系統の若茎の萌芽に及ぼす影響
○渡辺慎一・森脇丈治 (農研機構九沖研)
- P055 アスパラガスの1年養成株全収穫栽培法 (採りっきり栽培) とスイートコーンとの輪作体系におけるブロッコリーの導入の効果
○佐々木涼葉¹・二見萌葉²・山下紗佳²・柳澤樹¹・松永邦則³・元木悟¹
(¹ 明治大農学部,² 明治大院農学研究科,³ サナテックシード (株))
- P056 アスパラガスの1年養成株全収穫栽培法 (採りっきり栽培) におけるハウス半促成栽培と露地栽培との比較
山下紗佳¹・○藤原和葉²・宮下涼太郎²・佐藤美杜¹・山藤香¹・松永邦則³・元木悟²
(¹ 明治大院農学研究科,² 明治大農学部,³ サナテックシード (株))
- P057 アスパラガス枠板式高畝栽培における土壌養水分制御が収量に及ぼす影響
○坂本隆行・小林賢吾・奥村裕紀子・川口岳芳 (広島総研農技セ)
- P058 アスパラガスの1年養成株全収穫栽培法 (採りっきり栽培) のハウス半促成栽培における定植時期の検討
山下紗佳¹・○宮下涼太郎²・藤原和葉²・佐藤美杜¹・山藤香¹・松永邦則³・元木悟²
(¹ 明治大院農学研究科,² 明治大農学部,³ サナテックシード (株))
- P059 アスパラガスにおける葉温および日射強度が光合成速度および蒸散速度に及ぼす影響
○小林賢吾・坂本隆行・寺本実咲・中嶋悠太・上藤満宏・川口岳芳 (広島総研農技セ)
- P060 コマツナの大株栽培における施肥量と株間が生育および収量に及ぼす影響
○小坂井宏輔¹・宮澤直樹^{1,2} (¹ 東京農林総研セ,² 退職)
- P061 作物自身の能力を利用した栽培環境制御の試み: 塩水湛水下のコマツナ根による Hydraulic Lift の評価
○松嶋卯月・麻生剛志 (岩手大学)
- P062 ダイコンおよびハクサイにおけるドローンと画像解析処理ソフト「ImageJ」を用いた簡易的な植被率の推定方法
○畑木駿祐¹・栗田聡子²・本間貴司¹ (¹ 茨城農総セ園研,² 茨城農林振興公社)

- P063 異なる生育段階がダイコンのトリゴネリン含量に及ぼす影響
○池浦博美¹・平野耀基²・小林伸雄¹ (¹ 島根大生物資源科学部,² 島根大院自然科学研究科)
- P064 きのか菌床含有生分解性ポットで生育した野菜の発病抑制効果
○小野光理¹・福田尚寿²・妹尾毅巳¹・北村優紀³・豊田慶³・岡部有未³・名木野俊文³・石原亨¹・大崎久美子¹
(¹ 鳥取大農,² 鳥取大院持続性,³ パナソニックホールディングス (株) MI 本部)
- P065 ネギ葉身色に関するゲノムワイド関連解析
○廣瀬昂紀¹・中島徹也¹・番場大²・佐藤修正³・執行正義¹
(¹ 山口大院創成科学研究科,² 静岡大農学部,³ 東北大院生命科学研究所)
- P066 ネギ類における肥効調節型肥料を用いた省力施肥技術の確立
○古川鞠子 (福島県農業総合センター浜地域研究所)
- P067 Decoupled aquaponics systems による 葉ネギ施設栽培法の研究開発
○形部蓮¹・中島徹也¹・佐藤心郎²・平井優美²・田辺英雄³・岩本隆行⁴・執行正義¹
(¹ 山口大院創成科学研究科,² 理化学研究所環境資源科学セ,³ (有) どんぐり,⁴ (株) 3in)
- P068 もみ殻炭の施用が園芸用培養土および黒ボク土におけるハウレンソウの生育に及ぼす影響
○吉田祐子・松永明子・佐藤文生 (農研機構野花研)
- P069 異なる有機質資材投与がハウレンソウの成長および窒素吸収に及ぼす影響
○渡邊千夏・村上覚・名田和義 (三重大院生物資源学研究科)
- P070 ハウレンソウの種子に対する超音波処理が高温条件下での発芽に及ぼす影響
○木下あずさ^{1,2}・大野幸子²・鈴木克己²・切岩祥和² (¹ 岐阜大院連合農学研究科,² 静岡大学農学部)
- P071 人工光型植物工場における収穫前の強光処理が赤系リーフレタスの生育およびアントシアニン濃度に及ぼす影響
○中川貴人・甲村浩之・古山真一 (県立広島大生物資源科学部)
- P072 人工光型植物工場におけるレタス類栽培を想定したチップバーン発生と必須重金属元素の関係についての解析
○江口雅丈・北宅善昭 (大阪公立大研究推進機構)
- P073 水素燃料電池小規模植物工場による店産店消 (第七報)
○鈴木廣志¹・安藤文彦¹・石田健治²・田畑和文³・服部洋子³・岡部久子⁴
(¹ グリーンテック & ラボ株式会社,² 株式会社アグリ王,³ トヨタ紡織株式会社,⁴ 東急ホテルズ)
- P074 タマネギ遺伝資源における遊離糖とフルクタン含量との関係
○奥聡史・青木和彦・日浦聡子・室崇人・塚崎光 (農研機構東北研)
- P075 セット栽培用品種 ‘シャルム’ のタマネギ初冬どり作型における収穫日および収量予測モデルの開発
○木下貴文・林智仁・兒玉巽・小澤京平・山内大輔 (農研機構東北研)
- P076 異なる地温条件下で栽培した秋まきタマネギの生育に関する研究
○宇根和司¹・木内大空¹・池田裕樹^{1,2} (¹ 宇都宮大院地域創生科学研究科,² 宇都宮大農学部)
- P077 RGB-D 画像と機械学習に基づくイチゴ LAI 推定手法の検討
○渡部貴史¹・佐藤秀昭²・本間貴司¹ (¹ 茨城農総セ園研,² 茨城高専国際創造工学科)
- P078 農業ロボットにおける性能評価法の提案
○黒倉健^{1,3}・尾崎功一^{2,3}・ミヤグスクレナート^{2,3}・田畑研太^{2,3} (¹ 宇都宮大農,³ 宇都宮大 REAL,² 宇都宮大工)
- P079 無加温・少電照で栽培可能な多収生食用イチゴ品種 ‘マテラの雫 18-59’ の育成
玉置学・森野みほ・玉置涼佑・佐野颯馬・橋本航・池田耀 (オオノ開発株式会社)
- P080 気化潜熱を利用した育苗資材と短日処理がイチゴ ‘いばらキッス’ の花成誘導に及ぼす影響について
○北浦健太郎・中尾圭佑・笈川久美子・本間貴司 (茨城農総セ園研)
- P081 夏季に一季成り性イチゴを生産するためのライフサイクルの確立
○山田こころ¹・後藤文之¹・大村美貴¹・地子智浩²・坂東茂²・比嘉直人³・馬場旬平⁴
(¹ 佐賀大学農学部,² 電力中央研究所,³ ネクステムズ,⁴ 東京大学)
- P082 イチゴにおける新規受粉方法としての溶液受粉の有効性評価
○山口みゆ¹・阿久津雅子² (¹ 信州大院総合医理工学研究科,² 信州大学術研究院 (農))
- P083 イチゴの寒冷地向け半促成栽培における品種の違いが生育と収量に及ぼす影響
○鈴木麻菜香¹・神田啓臣¹・今西弘幸²・北本尚子¹・吉田康徳¹
(¹ 秋田県大院生物資源科学研究科,² 秋田県大アグリイノベーション教育研究セ)
- P084 飽差環境に対するイチゴ植物体の水ストレス応答の解析
○山中良祐¹・矢野孝喜¹・藤岡宏樹²・岸茂樹²・吉越恆¹・遠藤みのり¹・川嶋浩樹¹・和田光生³
(¹ 農研機構西農研,² 農研機構農情研,³ 大阪公大院農学研究科)
- P085 「生ガス式」群落内 CO₂ 施用がイチゴ糖類含量に与える影響の解析
○山本澁樹人¹・森田隆太郎²・小野拓生³・福地真也¹ (¹ 高圧ガス工業株式会社,² 東京大学,³ 愛知県農業総合試験場)

- P086 カーボンナノチューブマルチによるイチゴの株元全面加温技術の開発
○瀧川颯人¹・熊代嗣生²・別所星哉³・吉田彬人³・杉本忠⁴・山崎彬¹・細川宗孝^{1,5}
(¹ 近畿大院農学研究科,² 東京大院工学研究科,³ 近畿大農,⁴ ナノサミット株式会社,⁵ 近畿大アグリ技研 (ATIRI))
- P087 イチゴ果実における香氣成分局在の品種間差
○石橋美咲^{1,2}・佐野太郎³・橋本陽色¹・計盛晴香¹・河野安純²・及川彰¹
(¹ 京都大院農学研究科,² 京都大農学部,³ 奈良農研セ)
- P088 イチゴ果柄滲出液のプロテオーム解析による Fra a 1.01 の特徴づけ
○細見陽菜¹・内田遥和^{1,2}・建井政範^{1,3}・武部加奈子^{1,4}・小山竜平¹・石橋美咲^{1,5}・宇野雄一¹
(¹ 神戸大・院・農,² 現：兵庫県・阪神農業改良普及セ,³ 現：JA 大阪南,⁴ 現：兵庫県・神戸農業改良普及セ,⁵ 現：京都大・院・農)
- P089 深層学習によるイチゴ花粉活性の解析：観察条件への頑健性を備えたモデルの構築と応用
○山崎彬¹・植松菜月²・佐野太郎³・辰巳嘉人³・峯圭司³・浅尾浩史³・上田悠平³・稲葉銀佑¹・川辺響介⁴・安場健一郎⁴・吉田裕一⁴
(¹ 近畿大農学部,² 徳島農総技セ,³ 奈良農研セ,⁴ 岡山大院環境生命自然科学研究科)
- P090 イチゴ ‘恋みのり’ の光・養分利用特性に基づく低投入型栽培への適応性評価
○後藤啓太¹・須賀有子¹・山内智史¹・石崎摩美¹・二俣翔²・大石直記² (¹ 農研機構中農研,² 静岡農林技研)
- P091 LED 光源の UV 照射を利用したイチゴ炭疽病の防除に効果的な照射条件
○中原浩貴¹・窪田昌春¹・前田陽佑¹・山本長²・大高壽子²・越智鉄美²・小林弘高^{2,3}
(¹ 農業・食品産業技術総合研究機構植物防疫研究部門,² 東日本電信電話株式会社,³ 株式会社 NTT アグリテクノロジー)
- P092 促進酸化水の散布によるイチゴうどんこ病防除の検討
○藤田健一朗¹・岡田文雄²・中村勝重³・高橋さくら¹・鈴木栄¹
(¹ 東京農工大院農学府,² 工学院大学先進工学部,³ 三鷹光器 (株))
- P093 短節間性に優れ、抑制栽培に適したカボチャ新品種 ‘栗のめぐみ 2 号’
○嘉見大助¹・村田奈芳¹・中嶋香織^{1,2}・向吉健二³・辻あづみ⁴・小倉健生⁴・杉山慶太¹
(¹ 農研機構北海道農研,² 農研機構農情研,³ 鹿児島県農政部,⁴ 朝日アグリ (株))
- P094 カボチャ ‘備前黒皮’ の着花特性について
○草加愛美¹・元木航²・遠藤みのり²・後藤丹十郎²・安場健一郎² (¹ 岡山大学農学部,² 岡山大院環境生命自然科学研究科)
- P095 Growth and production characteristics of grafted and non-grafted cucumber (*Cucumis sativus* L.) plants under different nutrient management methods in a hydroponic system.
○Samba, Nethone (Department of Agriculture, Fukushima University)
- P096 開花位置を指標とした温度管理の違いが下げる栽培キュウリの生育、収量に及ぼす影響
○穂崎健昌・山崎浩実 (高知県農業技術センター)
- P097 キュウリのつるおろし栽培における節展開速度と収量の関係
○前田和也¹・安藤英伍¹・相見直人²・安東赫¹ (¹ 農研機構野花研,² 宮崎総農試)
- P098 山形県鶴岡市在来キュウリ ‘外内島’ における果皮色と呈味成分の変化に関する研究
○依田琉希・宮城敦子・江頭宏昌 (山形大学大学院農学専攻)
- P099 促成キュウリにおける低コスト養液栽培技術の開発 (第 2 報) 培地の選定
○松井健太郎・相見直人 (宮崎総農試)
- P100 小玉スイカ ‘ピノ・ガール’ の早期出荷作型における空洞果対策
○根本大輔・柳谷昇子・本間貴司 (茨城農総セ園研)
- P101 メロン果実物性関連形質の量的形質遺伝子座解析
○有田光太郎¹・川本野々愛¹・川島伸一²・島津樹一²・白澤健太³・吉岡洋輔⁴
(¹ 筑波大理工情報生命学術院,² ナント種苗 (株),³ かずさ DNA 研究所,⁴ 筑波大生命環境系)
- P102 異なる光質が ‘鷹の爪とうがらし’ , ‘甘長とうがらし’ の生育および形態形成に及ぼす影響
○中原宙¹・雨木若慶²・野口有里紗² (¹ 東京農業大学大学院農学研究科,² 東京農業大学農学部)
- P103 ナス科植物におけるバニルルアミン合成活性測定とトウガラシ VAMT の酵素活性に寄与するアミノ酸配列の探索
○尾迫舞優¹・佐野香織²・古旗賢二³・大野翔¹・田中義行¹ (¹ 京都大院農学研究科,² 城西大理学部,³ 城西大院薬学研究科)
- P104 炭疽病原菌 *Colletotrichum* 属と抵抗性有望トウガラシ系統の接種スクリーニング
○伊藤海帆^{1,2}・Mitalo, Oscar Witere^{1,3}・Carsono, Nono^{2,5}・康承源^{1,2,4}
(¹ 筑波大生命環境系,² JST/JICA SATREPS,³ 国際農林水産業研セ,⁴ パジャジャラン大,⁵ つくば機能植物イノベーション研セ)
- P105 Morphological characterization and growth speed of several *Colletotrichum* species from various plants
○Azmi, Chotimatul^{1,3,6}・康承源^{2,3,4}・福田直也^{2,3,4}・江面浩^{2,3,4}・Sari, Santika^{1,3,5}・伊藤海帆^{2,3}・Bakti, Citra^{3,5}・Widiantini, Fitri^{3,5}・Carsono, Nono^{3,5}
(¹ 筑波大理工情報生命学術院,² JST/JICA SATREPS,³ インドネシア国立研究革新新園芸研究センター,⁴ 筑波大生命環境系,⁵ つくば機能植物イノベーション研究センター,⁶ パジャジャラン大学)

- P106 ピーマン加温半促成栽培における炭酸ガス施用下の異なる仕立て法が生育と収量に及ぼす影響
○樋口洋子・高木素紀（茨城農総セ鹿島特産）
- P107 Evaluation about Fungicide Sensitivity of Colletotrichum spp. Isolates: A Comparative Study on Mycelial Growth Inhibition
○Sari, Santika^{1,2}・Carsono, Nono^{2,6}・Bakti, Citra^{2,6}・Widiantini, Fitri^{2,6}・Azmi, Chotimatul^{1,3,6}・海帆伊藤^{4,6}・康承源^{4,5,6}
（¹Graduate School of Science and Technology, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan, ²Faculty of Agriculture, Universitas Padjadjaran, Indonesia, ⁶JST/JICA SATREPS, ³Research Center for Horticulture, The National Research and Innovation Agency, Indonesia, ⁴Institute of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan, ⁵Tsukuba-Plant Innovation Research Center, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan）
- P108 Comparative studies on fertility traits of CMS eggplants (*Solanum melongena* L.) using cytoplasms from five wild *Solanum* species
○KhanMd. Mizanur Rahim¹・嬉野健次¹・一色 司郎²（¹琉球大学農学部, ²佐賀大学農学部）
- P109 きのか蒨菌床培地を用いたナスのつるおろし栽培の検討
○金子壮・赤沼岳・鈴木俊矢・菅野秀忠（宮城県農業・園芸総合研究所）
- P110 トマトのがく除去の効果に影響を及ぼす要因の解明
○木本奏彰・滝澤理人（龍谷大農学部）
- P111 低濃度オゾン水の葉面散布がトマト接ぎ木苗の初期生育に及ぼす影響
○反田絢也・西山学・金山喜則・加藤一幾（東北大院農学研究科）
- P112 園芸作物への Nanopore Direct RNA Sequencing 適用の試み
○太田垣駿吾・須崎陽聖・横井誠也（名城大農学部）
- P113 Development of Novel Tomato Varieties Using Genome Editing for Space Farming
○エルファクトリアノイクバル ファトゥラヒム¹・久家徳之²・高山真理子²・勝山弘章²・後藤英司⁴・江面浩^{2,3}・康承源²
（¹筑波大院生命地球環境科学研究群 生物資源科学学位プログラム, ²筑波大生命環境系, ⁴千葉大院園芸学研究院, ³筑波大 T-PIRC 植物イノベーションリサーチセンター）
- P114 大玉トマト収穫ロボットに適する栽培管理方法の検討 ―畝幅が収量および果実品質に及ぼす影響―
○由利昂大¹・横井直人¹・吉田康徳²（¹秋田農試, ²秋田県大生物資源科学部）
- P115 夏秋トマト、イチゴ水耕栽培におけるエアロポニックスの試み
○甲村浩之・浦川舞那（県立広島大学生物資源科学）
- P116 トマトの栽培環境データを用いた生育状態の数値化の試み
○前田健¹・安田雅晴¹・上野広樹²・寛雄介²・山崎敬亮²（¹岐阜農技セ, ²農研機構野花研）
- P117 北海道のパイプハウスにおける低圧細霧冷房が夏秋どりトマトの蒸散および光合成速度に及ぼす影響
○古山真一¹・立松宏一²・長濱恵³・高濱雅幹⁴
（¹県立広島大生物資源科学部, ²北海道総研機構建築研究本部, ³北海道総研機構上川農試, ⁴北海道総研機構花・野菜技セ）
- P118 冬期の根域加温が噴霧耕トマトの生育と果実品質に及ぼす影響
○本田佳留奈^{1,2}・彦坂陽介¹・塚越覚²（¹株式会社いけうち, ²千葉大学園芸学研究科）
- P119 高温期のトマト果房遮光における4種の遮光資材の比較検討
○高橋拓也¹・竹内幸生²・本間貴司¹（¹茨城農総セ園研, ²元茨城農総セ園研）
- P120 温室環境の違いに基づくストレス強度を補正因子としたトマトの果実収量予測モデルの精度評価
○大井手里緒¹・藤内直道²・高橋優太³・福田直也¹
（¹筑波大学蔬菜花卉学研究室, ²愛媛大学緑化研究室, ³株式会社アイクス）
- P121 秋田版トマト周年化モデルの確立に関する研究 ～接ぎ木の組み合わせと側枝葉利用が周年栽培しているトマトの生育と収量に及ぼす影響～
○大原紅太¹・今西弘幸¹・北本尚子²・神田啓臣²・吉田康徳²
（¹秋田県立大学アグリイノベーション教育研究センター, ²秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科）
- P122 塩ストレス下で栽培したトマトは低温長期貯蔵によりアスコルビン酸含量が増加する
○圖師一文¹・山添瑚夏²（¹宮崎大学農学部, ²宮崎大学大学院農学研究科）
- P123 異なる光強度条件下で生育したトマトマイクロトムにおける光合成応答解析
○長友綾香（筑波大学理工情報生命学術院 生命地球科学研究群生物資源科学学位プログラム）
- P124 トマト種子におけるトバモウイルスおよびポスピウイルスの局在性
○松下陽介・今村友哉・太田江美・久保田健嗣（農業・食品産業技術総合研究機構植物防疫研究部門）
- P125 栽培ベッド重量を指標とした給液制御によるトマト閉鎖型養液栽培システムの開発
○大石直記^{1,2}・二俣翔¹・大澤政敏³（¹静岡農林技研, ²静大創造科学大学院, ³山本電機（株））
- P126 カリウム高濃度施用によるトマト果実のリコペン向上効果の品種間差
○杉江敏亮・村上覚・名田和義（三重大院生物資源学研究科）
- P127 トマト培地耕における収穫残渣の有機液肥化方法の検討
○峯洋子¹・小島旦^{1,2}・富樫悠理¹・石川明男¹（¹東京農大農学部, ²（株）渡辺パイプ）

- P128 ウラルカンゾウの西日本での栽培に向けた選抜条件の検討および耐暑性機構の解析を目指す培養実験系の確立
○山口耕司¹・田崎愛佳²・西山薫音²・野口皓史²・浅野皓晶¹・朝倉尚也¹・山口浩^{1,2}・松田靖^{1,2}・増田優^{1,2}
(¹東海大学大学院農学研究科,²東海大学農学部)
- P129 エゾヘビイチゴ (*Fragaria vesca*) の EMS 突然変異体集団から発見された過蒸散変異体の解析
○前田絢耶・滝澤理仁 (龍谷大農学部)
- P130 エダマメ品種‘夏どり丹波黒3号’の栽植密度および作期等が開花期間に与える影響
○三村裕¹・小川昂志¹・尾崎耕二²・羽根沙苗²
(¹京都府農林水産技術センター生物資源研究センター,²京都府農林水産技術センター農林センター)
- P131 舞鶴カブと市販カブ品種の交配後代における農業形質の遺伝解析
○久保中央^{1,2,3}・安馬奈那¹・富田結衣菜²・児玉愛理²・伊藤寿美子^{3,4}・三村裕³・山崎むつみ³・辻元人^{1,2}
(¹京都府大院生命環境科学研究科,²京都府大生命環境学部,³京都農技セ生資セ,⁴*山城北普セ)
- P132 低温がボーレコールの生育、乾物率および Brix 値に及ぼす影響
○高濱雅幹¹・古山真一² (¹北海道総研機構花野菜技セ,²県立広島大生物資源科学部)
- P133 光強度がボーレコールの生育および葉の形態に及ぼす影響
○厨子雄大・古山真一 (県立広島大生物資源科学部)
- P134 熊本県五木村および五家荘のタケノコイモは在来作物といえるか?
○近藤友大¹・渡辺泰楽¹・早川公²・寺嶋悠³
(¹京都大学大学院農学研究科,²東京大学先端科学技術研究センター,³五木郷土研究会)
- P135 食用サボテンの国内栽培に向けた栽培試験と生育分析
○土本隼也・平田有人・堀部貴紀 (中部大応用生物学部)
- P136 人工光植物工場 (PFAL) による大豆多収栽培の実現
○河田直弥¹・藤田健作²・宇佐美由久¹・安東隆¹ (¹株式会社ファームシップ,²TPR 株式会社)
- P137 ニラの施設栽培における電照期間の違いが生育に及ぼす影響
○西村安代¹・和田絵理子² (¹静岡県立農林環境専大短大,²高知幡多農振セ)
- P138 促成栽培におけるニラの個葉光合成特性
○溝渕啓介 (高知県農業技術センター)
- P139 イモグサレセンチュウに対するニンニクの品種間差異
○吉賀豊司¹・青山理絵²・林宜蓁¹ (¹佐賀大学,²青森県産業技術センター)
- P140 アブラナ科合成ナブスと天然ナブスの外観形質の均一性および特性
○藤井宏栄 (山口農林総技セ)
- P141 培養液の $\text{NO}_3^-/\text{NH}_4^+$ 比がブロッコリーの成長および窒素吸収に及ぼす影響
○岡本涼太・村上覚・名田和義 (三重大院生物資源研究科)
- P142 ヘチマとトカドヘチマ間の複二倍体の作出
○芳賀智仁¹・カーン M.M.R.²・一色司郎¹ (¹佐賀大農学部,²琉球大農学部)
- P143 宮崎県での栽培に適したホップ品種の選定
○濱尾達也 (宮崎総農試薬草セ)
- P144 ホップにおける前駆体投与に伴う二次代謝物への影響
○池田公彦¹・川越義則²・梅田大樹² (¹日本大院生物資源科学研究科,²日本大生物資源科学部)
- P145 ヤーコンにおける多様性解析と品種識別への ISSR マーカーの応用
○赤城正崇¹・増田優^{1,2}・松田靖^{1,2} (¹東海大学大学院農学研究科,²東海大学農学部)
- P146 赤色レンコン‘友弘’の生育および根茎形態の特性
○富啓太^{1,2}・栗崎舞子²・宮島郁夫³・増田順一郎⁴・尾崎行生⁵
(¹香川大農学部,²九州大院生物資源環境科学府,³九州大熱研セ,⁴宮崎大農学部,⁵九州大農学部)
- P147 実エンドウのハウス冬春どり栽培における成熟期間の日中温度が莢の生育および品質に及ぼす影響
○宮前治加・山野智輝 (和歌山県農業試験場暖地園芸センター)
- P148 水耕栽培による食用サボテンの栄養強化研究
○平田有人・土本隼也・堀部貴紀 (中部大学応用生物学部)
- P149 種子への超音波処理がチップバーンの発生を軽減する作用機構に関する研究
○和田萌絵^{1,3}・木下あずさ^{2,3}・大野幸子³・鈴木克己³・切岩祥和³
(¹静岡大院総合科学技術研究科,³静岡大農学部,²岐阜大院連合農学研究科)

花 き

- P150 フジ属園芸品種における細胞質 DNA 多型を利用した種の同定
○水ノ江雄輝・尾崎行生（九州大院農学研究院）
- P151 チャの DNA マーカーを利用した観賞用ツバキの品種識別
○土江あすか¹・水ノ江雄輝²・尾崎行生²（¹九州大院生物資源環境科学府,²九州大院農学研究院）
- P152 シクラメン二色咲品種を用いた花色生合成に関与する遺伝子群の比較解析
○秋田祐介¹・野田尚信²・三上莉穂^{1,3}（¹埼玉大院工学研究科,²農研機構野花研,³（株）イノカ）
- P153 イオンビーム照射によって得られた芳香シクラメン *5-O-glucosyltransferase* 変異体の解析
○石井彩愛・秋田祐介（埼玉大院工学研究科）
- P154 セントポーリアにおけるアントシアニン 5 位グルコース転移酵素遺伝子の特定
○ペパー福井アンナ¹・倉田大地¹・立澤文見²・山崎彬¹・細川宗孝^{1,3}
（¹近畿大院農,²岩手大農,³近畿大アグリ技研（ATIRI））
- P155 マーガレットの花成関連遺伝子の単離および発現解析
○山地母恵・田中真優子・山崎未紗・深井誠一・鳴海貴子（香川大学農学部）
- P156 デルフィニジンを蓄積する形質転換アサガオにおける花卉展開障害のトランスクリプトーム解析
○HUYNH, TON PHUC¹・清水圭一^{1,2}・香西直子^{1,2}・橋本文雄^{1,2}（¹鹿児島大院連合農学研究科,²鹿児島大学農学部）
- P157 ラン科植物シランにおける三蝶咲き形質と *BsAGL6-C2* 遺伝子の連鎖解析
○石川尚裕^{1,2}・岩永千波³・秋田祐介⁴・菅野明^{1,5}
（¹東北大院生命科学研究所,²千葉大院園芸学研究所,³埼玉大工学部,⁴埼玉大院工学研究科,⁵千葉大院園芸学研究所）
- P158 アルストロメリアの花冠着色に関与するアントシアニン生合成遺伝子の単離
○渡邊いぶき¹・立澤文見²・中塚貴司¹（¹静岡大院総合科学技術研究科,²岩手大農学部）
- P159 ベタレイン生合成遺伝子を用いた形質転換コデマリの作出
○山本舞雪・窪田理美・中川和紀・菅野又ますみ・高橋さくら・鈴木栄（東京農工大院農学府）
- P160 ストックのエバースポーター現象に関与する遺伝子の探索
○区健晴¹・中塚貴司¹・篠澤章久²・田崎啓介⁵・田中裕之⁴・伊藤武彦⁴・鈴木稜⁵
（¹静岡大院総合科学技術研究科,²東京農大生物資源ゲノム,⁵東京大新領域創成科学研究科,⁴東京科学大生命理工学院）
- P161 ストックにおける形質転換法の改良と SEP3-SRDX 形質転換体の作出
○山本翔大・棚原祥貴・中塚貴司（静岡大学大学院総合科学技術研究科）
- P162 皇居内にのみ現存する園芸植物カモメギクの細葉形質の原因遺伝子の特定
○豊倉浩一¹・大宮陸¹・有賀悠貴¹・田中伸幸²・中野道治³・小塚俊明⁴・谷口研至¹・草場信¹
（¹広島大院統合生命科学研究所,²国立科学博物館 植物研究部,³高知大農林海洋科学部,⁴金沢大理工研究域 COI-NEXT）
- P163 キクタニギクにおける花冠裂片接着変異責任遺伝子 *STF1* の探索
○青木孝司郎¹・夏目弘樹¹・西村和紗²・谷口研至¹・草場信¹
（¹広島大学大学院統合生命科学研究所,²岡山大学大学院環境生命自然科学研究科）
- P164 キク属モデル植物キクタニギク自家不和合性遺伝子の探索
○西嶋優¹・豊倉浩一¹・有末遼¹・西村和紗²・牛島幸一郎²・中野龍平³・谷口研至¹・中野道治⁴・草場信¹
（¹広島大院統合生命科学研究所,²岡山大院環境生命自然科学研究科,³京都大院農学研究科,⁴高知大農林海洋科学部）
- P165 キクの概日時計遺伝子 *CsLUX* の機能解析と組織培養再分化系の最適化
○李柏毅・隋曉明・磯部祥子・樋口洋平（東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻園芸学研究室）
- P166 ツツジ属植物の遺伝資源の活用に関する研究（第 52 報）見染性のツツジ花冠における色素含有量と色素関連遺伝子発現の変化
○中務 明・石原朋季・小林伸雄（島根大学生物資源科学部）
- P167 葉緑体ハプロタイプに基づくクルメツツジ品種間の関係
○田村美帆・渡辺敦史（九州大学大学院農学研究院）
- P168 クルメツツジ品種の花形態の多様性
○前田真央¹・秦瑞澤²・田村美帆³・渡辺敦史³
（¹九州大学農学部,²九州大学大学院生物資源科学府,³九州大学大学院農学研究院）
- P169 ホオズキ弱毒ウイルス培養苗の作出および現地栽培による防除効果の検証
○黒木響¹・徳満理佳¹・杉村和実²・早日早貴³・大田哲史¹
（¹宮崎県総合農業試験場,²宮崎県南那珂農林振興局,³JA みやざき）
- P170 ガーベラ *in vitro* 培養苗の増殖・発根・順化手法の最適化
○田中友実子¹・内田敦夫²・福岡新一²・富永晃好¹（¹静岡大院総合科学技術研究科,²グリーンテック）

- P171 カルス培養を利用したチューリップの大量増殖系の確立に関する研究
○疋田匠¹・神戸敏成^{1,2} (¹ 龍谷大院農学研究科,² 龍谷大農)
- P172 絶滅危惧植物タキユリのリン片組織培養における糖類および培地形態の影響
○魯艶星^{1,3}・島崎一彦² (¹ 高知大院総合人間自然科学研究科,³ 九州大院生物資源環境科学府,² 高知大学農林海洋科学部)
- P173 古館城址に生息するシロバナタンポポの培養系による増殖の試み (2) 培養系から得られた再生個体の種子発芽稔性と簡便な栄養繁殖の試み
○勝川健三 (弘前大学教育学部)
- P174 異なる波長の光が絶滅危惧種ラン科植物の発芽と初期成長に及ぼす影響
○里見拓飛¹・神戸敏成^{1,2} (¹ 龍谷大院農学研究科,² 龍谷大農)
- P175 ダリア挿し穂において高温が発根に関連する遺伝子の発現に及ぼす影響
○中田康貴・山田哲也 (東京農工大院連合農学研究科)
- P176 ガーベラ (*Gerbera hybrida*) 四倍体における形態および細胞構造の比較解析
○安藤凌¹・服部太郎¹・内田敦夫²・福岡新一²・富永晃好¹ (¹ 静岡大院総合科学技術研究科,² グリーンテック)
- P177 イギリスのサクラ栽培品種 ‘オータム・グローリー’ の特性と分類学的再検討
○大原隆明¹・神戸敏成² (¹ 富山県中央植物園,² 龍谷大農学部)
- P178 長期開花系統のライスフラワーの育種素材の開発
○三島尚子・平石真紀 (高知県農業技術センター)
- P179 最低気温および施肥回数がスターチス・シニユアタの赤変葉の発生に及ぼす影響
○磯部佳奈¹・遠藤みのり¹・元木航¹・安場健一郎¹・深山陽子²・後藤丹十郎¹
(¹ 岡山大院環境生命自然科学研究科,² 福島大農学群)
- P180 ステビアにおける花芽分化を制御する *FLOWERING LOCUS T (FT)* 様遺伝子の探索
○坂田忠大¹・東未来²・百瀬博文²・平井正良³・岩城一考³・喜多諒³・上吉原裕亮¹・立石亮¹
(¹ 日本大院生物資源科学研究科,² 日本大生物資源科学部,³ サントリー食品インターナショナル株式会社)
- P181 弘前公園のサクラにおける早期開花予測にむけたマルバマンサクの開花に関与する気象要因の探索と開花予測の試み
○青沼彩葉¹・立澤文見^{1,2}・渡邊学^{1,3}・橋場真紀子⁴・海老名雄次⁴・丸居和⁴・本多和茂^{1,5}
(¹ 岩手大院連合農学研究科,² 岩手大農学部,³ 岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ,
⁴ 弘前市都市整備部公園緑地課,⁵ 弘前大農学生命)
- P182 LED 照射による暗期中断の時間帯がカーネーションの開花および生育に及ぼす影響
○水谷祐一郎・原田正志・中西智哉 (兵庫農技総セ淡路)
- P183 白色 LED による照射時間帯の違いがスタンダードカーネーションの生育、開花および切り花品質に及ぼす影響
○稲葉善太郎・山下愛奈・外岡慎 (静岡県立農専大短大)
- P184 遮光資材がシクラメンおよびエラチオール・ペゴニアの開花・生育に及ぼす影響
○中島拓・市東豊弘 (千葉県農林総合研究センター)
- P185 暗期中断処理が夏季および冬季のガーベラ成長と切り花品質に及ぼす影響
○高塚圭太¹・区健晴¹・梅田さつき²・外岡慎³・中塚貴司¹
(¹ 静岡大院総合科学技術研究科,² 静岡農技研究所,³ 静岡農林環境専門職大)
- P186 ネモフィラにおける明期終了時の光質が胚軸長ならびに昼夜温度差が節間長に及ぼす影響
○寒河江愛優¹・神田啓臣¹・今西弘幸²・北本尚子¹・吉田康徳¹
(¹ 秋田県大生物資源科学研究科,² 秋田県大アグリイノベーション教育研究セ)
- P187 メッシュ農業気象データを利用したケイオウザクラの低温遭遇量推定と促成開花
○虎太有里・辻本直樹・武田偉吹 (奈良農研セ)
- P188 ダリアの接ぎ木育苗が発根、生育および切り花品質に及ぼす影響
○森高久美 (宮崎県総合農業試験場)
- P189 ラナンキュラスの冷蔵庫内 LED 電照による大苗育苗における適切な日長時間の検討
○喜田圭祐・森高久美・中村広 (宮崎総農試)
- P190 バラにおける LED 補光照射および給液管理の違いが収量および品質に及ぼす影響
○武藤貴大・梅田さつき・入谷明里・鈴木幹彦 (静岡県農林技術研究所)
- P191 苗の高温処理によるキク白さび病の防除効果と生育への影響
○辻本直樹・虎太有里・武田偉吹 (奈良県農業研究開発センター)
- P192 オリエンタル系ユリの葉焼け抑制技術の検討
○下村文那¹・門田いづみ²・平石真紀¹ (¹ 高知県農業技術センター,² 高知県農業振興部環境農業推進課)
- P193 青・遠赤色光混合の EOD 処理がトルコギキョウの生育に及ぼす影響
○近藤佳乃衣¹・長谷川花那²・大日方大樹²・小西弘真²・田崎啓介² (¹ 東京農業大院農学研究科,² 東京農業大農学部)

- P194 高濃度 CO₂ 施用によるガーベラとトルコギキョウの順化様相の評価
○加原なつみ（岡山大学農学部）
- P195 トルコギキョウ苗の地上部重/地下部重比がチップバーン発生率に及ぼす影響
○深山陽子¹・生亀薫玲葉^{1,2}・Nethone, SAMBA¹（¹福島大,²福島県東北農林事務所）
- P196 UV-B 照射によってバラうどんこ病菌に生じるペリジンドイマーの修復機構の推定
○中筋穂奈実¹・三宅真央¹・中筋弘俊¹・吉田翔¹・江藤侑亮¹・山崎彬¹・細川宗孝^{1,2}（¹近畿大院農学研究科,²ATIRI）
- P197 ジベレリン処理がオーニソガラム・シルソイデス切り花の品質に及ぼす影響
○山根健治¹・神田啓臣²（¹宇都宮大農学部,²秋田県大生物資源科学部）
- P198 ダリア小花とケミカルライブラリーを用いた切り花の品質保持に有効な化合物の探索
○東未来¹・坂田忠大²・野島小都美¹・高野靖広¹・百瀬博文¹・上吉原裕亮²・立石亮²
（¹日本大生物資源科学部,²日本大院生物資源科学研究科）
- P199 ピンクおよび青紫系スターチス品種の花色と色素成分の関係
○川口治憲¹・熊田結人²・秦奇³・中根孝久⁴・岩科司⁵・水野貴行^{3,5}・立澤文見²
（¹茨城大院農学研究科,²岩手大農学部,³農工大院連合農学研究科,⁴昭葉大薬学部,⁵国立科博植物研究部）
- P200 ヒャクニチソウ F₁ プレシオーサシリーズにおける花色と花色素
○鈴木璃子（岩手大学大学院総合科学研究科）
- P201 ペンタス園芸品種の花色とフラボノイド
○瀬戸花香¹・長根ひなた²・水戸部祐子³・立澤文見²
（¹岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ,²岩手大農学部,³岩手大技術部）
- P202 花色の多様性から推定されるクルメツツジ品種とその起源種との関係
○江田咲希¹・田村美帆²・渡辺敦史²（¹九州大学生物資源環境科学府,²九州大学大学院農学研究院）
- P203 青藤系バラ品種の花に含まれるフラボノールの解析と花色への関与
瀬戸花香¹・○水野貴行²・岩科司²・立澤文見³
（¹岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ,²国立科博植物研究部,³岩手大農学部）

利 用

- P204 収穫後の近赤外光照射がモモの果実糖度および硬度の変動に及ぼす影響
東条拓海¹・西山学¹・秦亜矢子²・垣渕和正²・半谷智弘³・東谷勝³・金山喜則¹・○加藤一幾¹
（¹東北大院農学研究科,²（株）四国総研,³トヨタ自動車（株））
- P205 ラズベリー ‘ヘリテージ’ 生鮮果実におけるフィルム製の宙吊り構造容器を用いた電圧冷蔵保存の有効性の検討
○今西弘幸¹・伊藤凌人²（¹秋田県立大アグリイノベーション教育研究センター,²NTT 東日本（株）秋田支店）
- P206 低濃度オゾンガス連続処理によるブルーベリー果実の長期保存
○望月佑哉・佐藤航輔・犬伏野咲・宮下智人・井上栄一・高野友二郎（茨城大農学部）
- P207 ブドウ果皮に含まれる機能性成分の探索
○畑中唯史¹・久保田朗晴²・木下颯³・阿座上弘行^{3,4}
（¹岡山県農林水産総合センター生物科学研究所,²岡山県農林水産総合センター農業研究所,³山口大学大学院創成科学研究科,⁴山口大学中高温微生物研究センター）
- P208 ブドウの冷蔵および冷凍後の搾汁における水溶性物質評価
○芦野祐尋^{1,2}・小倉立己¹・門脇里恵¹・佐藤美夢^{1,2}・川島旭⁴・若山正隆^{1,3}
（¹慶大・先端生命研,²（公財）庄内産業振興セ,⁴（株）エル・サン,³愛媛大）
- P209 AI と青色光を活用した高精度な抽苔ニンジン判別手法の開発
○川島圭太¹・宮島沙織²・吉田道拓²・井川久²・林孝洋³・近藤直³
（¹北海道総研機構ものづくり支援セ,²北海道総研機構工試,³京都大農学研究科）
- P210 小型分光器を用いた植物の生理情報の非破壊測定技術の開発
○鈴木仁・岡野陽平・内田哲也・與儀修・大山泰生（浜松ホトニクス株式会社）
- P211 カンショにおける三次元測定機を用いたデンプン含量の推定方法の確立
○山崎るな¹・川村武^{1,2}・前田哲¹・大橋俊子¹（¹茨城農総セ農研,²茨城農総セ）
- P212 画像解析によるミニトマト生育度診断のためのデータセット作成
○十川太輔¹・宮前治加¹・和田俊和²・菅間幸司²（¹和歌山農試暖地園芸セ,²和歌山大システム工学部）
- P213 トマト果実の糖度・新鮮重推定におけるデータサイエンス的アプローチ
○菊地郁・鈴木大輝・林亜貴・後藤勲（宮城大）

P214 異常食感が形成されたトマト果実における細胞壁成分の変化

○森飛隼¹・安倍司¹・上古原裕亮^{1,2}・水野真二^{1,2}・東未来²・岩永崇²・土屋正邦²・澤田幸尚³・曾我綾香³・立石亮^{1,2}
(¹ 日本大院生物資源科学研究科,² 日本大生物資源科学部,³ 神奈川農技セ)

P215 東南アジア地域での施設生産に必要なエネルギー使用量の比較

○王蕊¹・曹巍²・安藤英伍¹・小田篤¹・安東赫¹・磯崎真英¹・東出忠桐¹ (¹ 農研機構野菜花研,² 農研機構農情研)

P216 ムラサキの筒栽培における Cu_2^+ 施用が紫根の収量, シコニン誘導体含量および紫根染布の測色結果に及ぼす影響

○伊藤善一¹・越田薫子²・金子七菜¹・佐々木彩香¹・青木正明³・芝野真喜雄⁴・川岸康司⁵
(¹ 明治大農学部,² 明治大院農学研究科,³ 京都光華女子大短期大学部,⁴ 大阪医科薬科大薬学部,⁵ 明治大黒川農場)

P217 サボテンは地球温暖化を緩和しうるか? —バイオミネラルの生理機能解明と脱炭素技術への応用—

○堀部貴紀・平田有人・土本隼也 (中部大学応用生物学部)